

備前市 事務事業 評価表

事務事業名	クリーンセンター備前維持管理事業	コード	01-01-14-10
		担当課・係	環境課・衛生係
		担当者	馬場 敬士
		電話	64-1821
事業実施期間	平成10年度～		
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり	
	小項目(施策)	ごみ処理	

事業について	
目的 (何のために)	燃えるごみ（一般廃棄物）について、ダイオキシン類・ばい煙等を排出基準以下で適正かつ効率的に焼却することにより、生活環境の保全につなげる。
対象 (誰・何を対象に)	燃えるごみ（一般廃棄物）の処理を必要とする、備前地域の市民・市内事業者
内容	適正かつ効率的に焼却するために施設の維持管理を行う。

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
ごみ焼却処理量	7,443 t	7,406 t	
焼却灰発生量	968 t	923 t	
稼働日数	253 日	230 日	
改修工事費	68,250 千円	33,537 千円	
事業費 (単位：千円)	事業費	財源	事業費
	直接事業費 124,945	国庫補助金等	直接事業費 85,293
	人件費 31,473	委託費負担 25,881	人件費 26,535
	委託費負担 市債	53,288	委託費負担 市債
合計	156,418	130,537	合計
	一般財源等	0	一般財源等
	0	58,540	合計
	0	0	0

必要人員	5.20 人	4.05 人	
結果指標	結果指標名	ごみ焼却処理量	ごみ焼却処理量
	結果指標量	7,443	7,406
	単位	t	t
	対前年比	-	99.50%
	活動にかかるコスト	156,132,000 円	111,621,000 円
	単位当たりコスト	20,977 円	15,072 円
結果指標	結果指標名	稼働日数	稼働日数
	結果指標量	253	230
	単位	日	日
	対前年比	-	90.91%
	活動にかかるコスト	156,132,000 円	111,621,000 円
	単位当たりコスト	617,123 円	485,309 円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	ごみの減量化・資源化を推進し、ごみ焼却量を減少することにより、焼却炉の消耗を抑え、施設の延命化を図る。		
成果指標名	1日当たりのごみ焼却処理量	式又は説明	年間ごみ焼却処理量 / 稼働日数
	17年度	18年度	
成果指標量	29	32	
対前年比	-	109.45%	0.00%
到達目標値	25	到達目標年度	平成25年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等)	妥当性評価<A~E> A 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	関係法令等に基づき適正で効率的な焼却作業に努めている。 県のごみ処理広域化計画が、現在、進行中であり将来的には、備前市、瀬戸内市、赤磐市のごみを焼却する新しい施設が建設予定である。(場所は未定)
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大きい		
効率性の評価	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	ごみ焼却施設のクリーンセンター備前は施設の耐用年数が約15年であるが、稼働から9年を経過しており、修繕工事等に係る維持管理費用は莫大である。 平成20年度より、ごみ集積所による古紙回収を実施し、リサイクルの推進を行うことにより、可燃物の減量を図る。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	ごみ処理の有料化（平成17年1月より）以降、ごみの焼却量は減少している。 ごみの減量化・資源化を推進し、ごみ焼却量を減少することにより、焼却炉の消耗を抑え、施設の延命化を図る。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 ごみ処理の有料化以降、ごみの焼却量は減少している。
目標値	結果指標量 7,300	結果指標量	
	成果指標量 28		

総合評価	ごみ焼却量の減量は、焼却炉の延命だけでなく、焼却のための燃料、薬剤等の減量につながり、費用削減にも有効である。既存の資源物回収（古紙類、ペットボトル）、ビン類のコンテナ回収の充実、及び各地区における自主的な資源ごみ回収活動の支援等ごみの資源化によるごみの排出抑制を行う。	評価区分 <A~E> B
------	---	------------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	焼却施設の計画的な維持補修	毎年度	施設維持管理費のコスト削減
有効性	資源ごみ回収の充実	毎年度	家庭ごみの排出抑制、資源物のリサイクル
有効性	ごみ集積所による古紙回収の開始	平成20年度	古紙のリサイクル(可燃物減少)